

令和8年度「生物」シラバス

科目名		必修・選択	単位数	類型
生物		選択	4	普通科理型
教科書 副教材等	生物（数研出版） 新課程 リードα 生物基礎＋生物（数研出版） 共通テスト対策 チェック＆演習 生物（数研出版） 短期攻略 大学入学共通テスト 生物（駿台受験シリーズ） 共通テスト対策 [実力完成] 直前演習 生物（ラーンズ）			

1 学習目標

2年次の「生物基礎」では、「生物の特徴」、「遺伝子とそのはたらき」、「生物の体内環境」、「生物の多様性と生態系」について、「生物」では「生物の進化」、「生命現象と物質」について学習しました。3年次の「生物」では、生物基礎で学習した内容をふまえて、「遺伝情報の発現と発生」、「生物の環境応答」、「生態と環境」について学習します。生物基礎で学習した内容をさらに深く発展させていく単元もあれば、生物で初めて学ぶ単元もあります。私たち人間もホモ・サピエンスという生物の一種であり、生物について学習することは、自分自身をより深く理解する第一歩となるでしょう。

また、この授業では大学受験に向けて、大学入学共通テストや個別試験に対応した問題演習を進めていきます。これらの問題演習を通じて、入試問題に対応できる実践力を身に付けていきます。

2 学習概要

<第3編 遺伝情報の発現と発生>

生殖によって多様な遺伝的組合せが生じるしくみ、たった1個の受精卵から複雑な構造をもつ新しい個体が形づくられていく過程、その過程で発現する遺伝子とその発現を調節している物質について学習します。

<第4編 生物の環境応答>

「第5章 動物の反応と行動」、「第6章 植物の環境応答」の2章で構成されています。生物個体が外界からの刺激を感知し、それに反応する仕組みについて学習します。

<第5編 生態と環境>

生態系の中で、多様な生物が共存している様子やその仕組みを学習します。さらに、生物多様性とその保全について考えます。将来的な人間生活の持続のためには、生態系の保全と人間生活の両立を考える視点を身に付けます。

3 学習方法

（1）授業への取組

- ①授業が一番の基本です。集中して授業を聞き、知識や考え方をしっかり身に付けてください。
- ②復習する際は教科書およびノート・プリントを読み返し、知識や考え方を再確認してください。
- ③問題集を解いて、知識・考え方の確認および定着を図ってください。
- ④間違えた問題を中心に、もう一度問題を解きなおしてください。テスト前までに問題集を必ず2周以上してください。

（2）家庭学習

日々コツコツと学習をしていきましょう。余裕のある生徒は、参考書を活用して自主学習をすると、長期記憶に繋がります。学問に王道はありません。

（3）学力向上のために

生物は、単語を覚えればそれで良いという学問ではありません。どのような仕組みではたらいっているのかなど、学習の流れを体系的に理解するようにして下さい。『日常生活における生物の知識』が、生物をより魅力的なものへと変えてくれるはずです。

<自立した学習者になるために>

- ・問題演習の時間が授業だけでは十分に確保できません。必ず各自でリードα 生物基礎＋生物のリードCまではすべて解けるように仕上げてください。また、課外にも積極的に参加しましょう。
- ・模試はやりっぱなしにせず必ず復習してください。模試復習用のノートをつかって模試をやり直し、解けなかった問題や曖昧だった問題をまとめてください。模試をやり直すだけで、その問題に関連する分野の学習も出来るので、とても効率良い学習となります。
- ・今すぐに志望大学の過去問を見て傾向をつかんでください。特に国公立大学を中心に論述問題が多く出題されるので、早めの対策が必要です。

4 評価について

(1) 評価方法

「知識・技能 (①)」、「思考・判断・表現 (②)」、「主体的に学習に取り組む態度 (③)」

の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

- ・定期考査 (中間・期末考査、学力テスト) ……………①、②
- ・小テスト……………①
- ・授業に対する姿勢や態度……………②、③
- ・発問に対する発表内容……………②、③
- ・課題や提出物等の提出状況・内容・発表方法……………①、②

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

(2) 評価規準

	知識・技能 (①)	思考・判断・表現 (②)	主体的に学習に取り組む態度 (③)
評価規準	生物学の基本的な概念や原理の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	生物的事物・現象を対象に、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈の導出などの探究の方法を習得している。	生物的事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。

5 学習計画

学期	単元名	学習のねらい (内容のまとめごと)	考査等
一学期	第3編 遺伝情報の発現と発生 第4章 遺伝情報の発現と発生 第4編 生物の環境応答 第5章 動物の反応と行動 第6章 植物の環境応答	遺伝子が発現するしくみや、遺伝子発現がどのように調節されているかなどを学習します。 外界からの刺激に反応し、神経系を介して反応や行動が起こるしくみを理解し、自分の言葉で説明できるように学習します。 植物の成長や反応に植物ホルモンがどのように関わっているの理解し、動物との違いを説明できるような視点を身に付けます。	・中間考査 ・期末考査
二学期	第5編 生態と環境 第7章 生物群集と生態系 <生物総復習> 問題演習を通した生物の総復習	生態系における生物どうしの関係や、人間生活による生態系への影響を学びます。これらを学ぶことで、将来的な人間生活の持続のためには、生態系の保全と人間生活の両立を考える視点を身に付けます。 問題演習を通じて、入試問題に対応できる実践力を身に付けます。	・中間考査 ・期末考査
三学期	<生物総復習> 問題演習を通した生物の総復習		